

【抱えていた課題】

- 中国にてビジネスを展開している日本企業が、現地でのビジネスに必要なシステムを中国国内で稼働させるケースが増え、そのシステムの稼働環境としてアリババクラウドサービスが選ばれることも増えてきた。

中国国内の各拠点からシステムへのアクセスは、中国国内同士のため問題もなく快適に利用できているが、日本本社から中国国内のアリババクラウド内のシステムへアクセスする際に、一般インターネット経由での接続だと通信が不安定になることが多々あり、タイムリーに受注・売上等の情報を確認できないことがあり、改善が求められていた。

【採用に至った経緯、ポイント】

- 最低利用帯域が、1Mbpsから選べ、コストを抑えられるサービスであること。
- 日本側でアリババクラウドサービスを別途契約する必要がなく、単に国際の回線利用料だけで済ませられること。
- 事前検証によって通信品質が確認でき、必要な帯域も確認できたこと。
- 日本本社側にIX-NET利用のためのルーターを設置することにより、日本本社からアリババクラウドサービス（中国）までのすべての通信経路の通信状態が把握できるようになり、安心して使えること。

【導入効果】

- 確実に安定した通信環境を確保でき、中国への通信の問題を解決できた。
- 必要最低限の帯域で利用できたため、コストも抑えることができた。

【サービス名】

- IX-NET for Alibaba Cloud 2Mbps帯域保証

